

平成 19 年 9 月 28 日

3 号機の定期検査状況について

当所 3 号機は定期検査中ですが、平成 19 年 9 月 26 日より、タービン建屋地下 1 階に設置された給水加熱器ドレンポンプ*¹ 3 台のポンプバレル（埋設容器）を点検するために吊り上げ作業を行ったところ、ポンプバレルを収めたそれぞれのコンクリートピット内（3 箇所）に溜まり水があることを確認しました。

また、溜まり水について水質分析を行ったところ、3 箇所それぞれの溜まり水からトリチウム*²が検出されました。

今後、詳細な調査を実施することとします。

なお、同号機についてはタービン建屋周囲に敷設されている排水設備*³の水を分析した結果、トリチウム等の放射性物質は検出されていないことから、外部への放射能の影響はないものと考えております。

以 上

* 1 給水加熱器ドレンポンプ

給水加熱器で発生する凝縮水を復水系統に回収するためのポンプであり、A・B・C と 3 台設置されている。

* 2 トリチウム

水素の仲間地球上のどこにでもある放射性物質で、原子炉の中でも発生している。

・自然界の海水のトリチウム濃度 約 5×10^{-4} ベクレル/cm³

・今回検出されたトリチウム濃度

Aピット：約 25 ベクレル/cm³

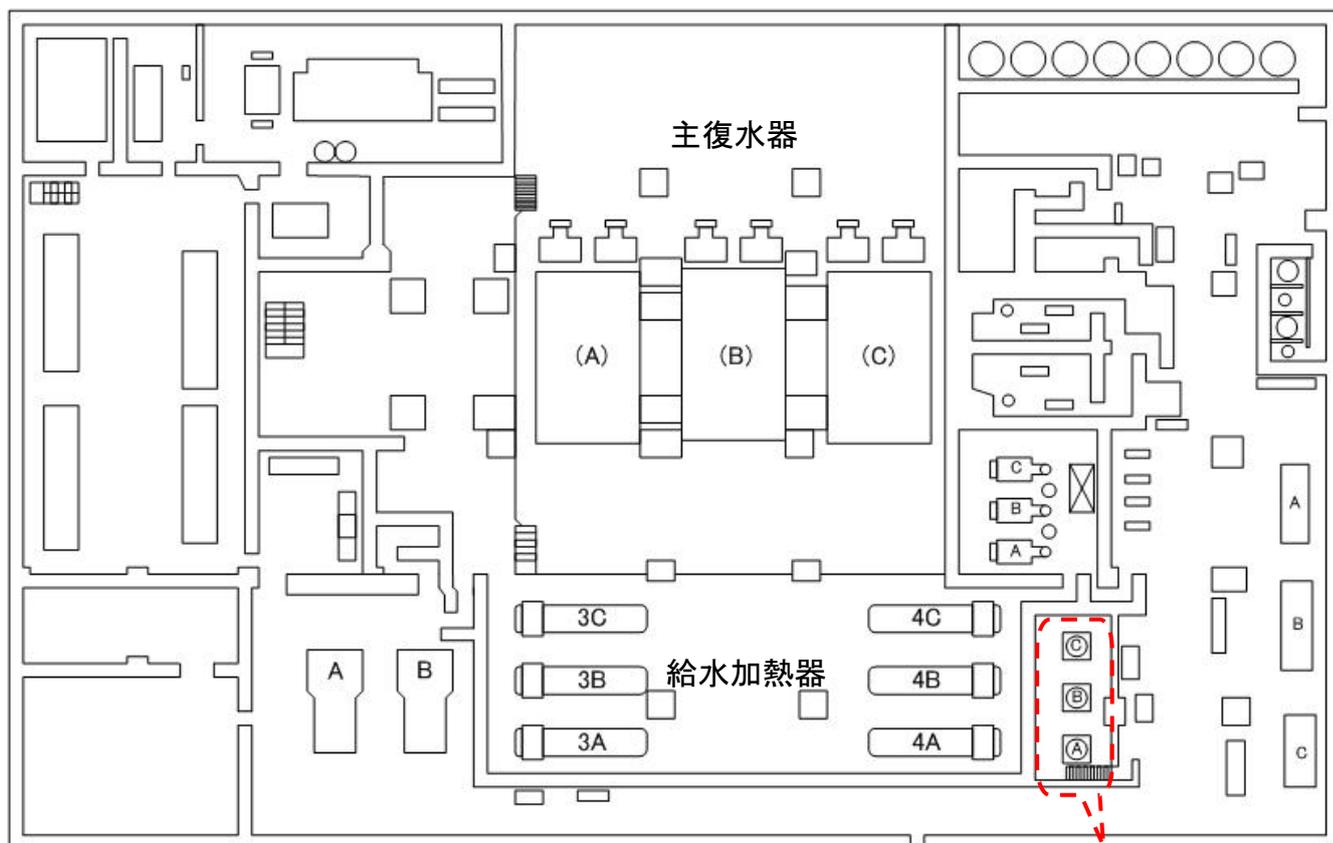
Bピット：約 44 ベクレル/cm³

Cピット：約 24 ベクレル/cm³

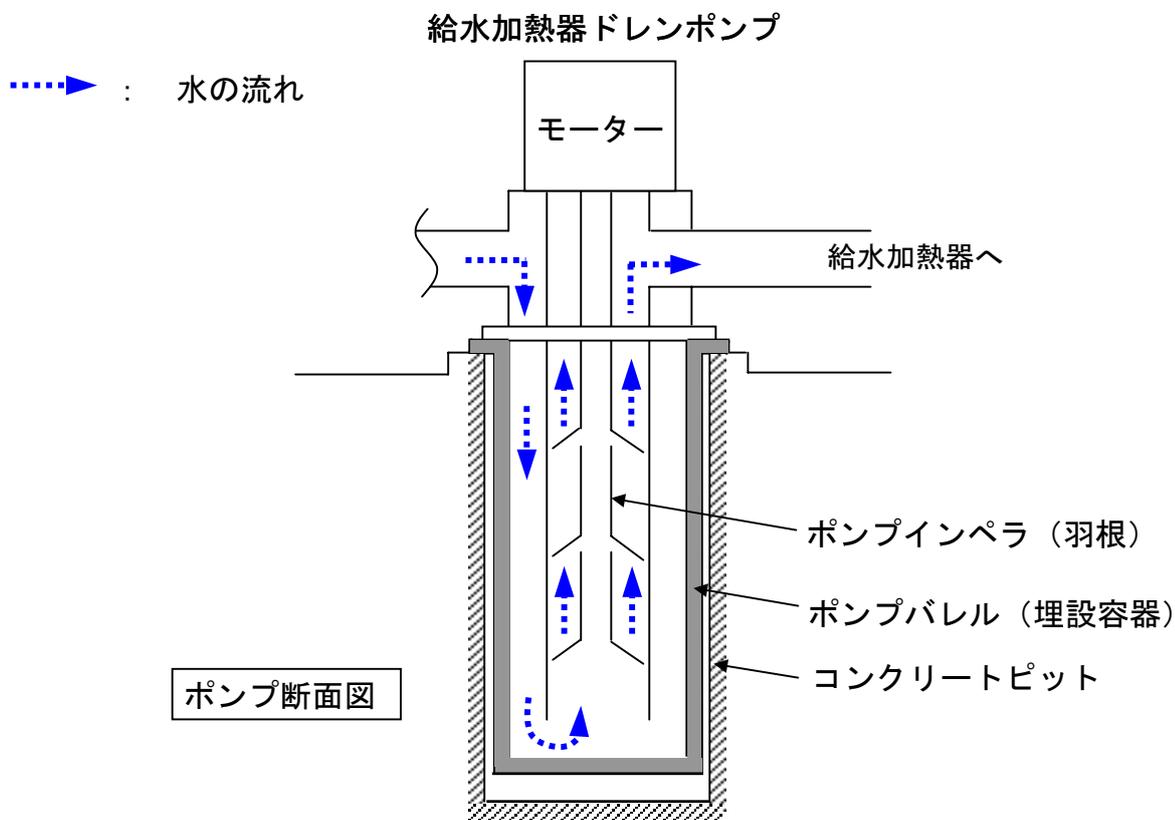
* 3 排水設備

各建屋に過剰な水圧がかからないよう、湧き水をくみ上げるための設備で、タービン建屋や原子炉建屋などの周囲に設置している。

タービン建屋地下1階



給水加熱器ドレンポンプ3台の位置



3号機タービン建屋給水加熱器ドレンポンプ概略図